

### (3) 道徳授業の工夫

## 導入の工夫

#### 価値への導入

##### ① 「心のノート」の活用

お父さん、お母さんに書いて  
もらったメッセージを読みます



〇〇が笑っているとうれしいです。  
〇〇がおこっていると、悲しいです。  
けれど、どんな〇〇でもいてくれるだ  
けで、幸せです。

4年 「おばあさんのおむかえ」  
～大切な家族を思う心～

児童の「心のノート」に両親からのメッセージを書いてもらっており、そのメッセージを児童が読むという導入。いろいろな家族からのメッセージが読まれ、温かい雰囲気が始まった。

##### ② 生活を振り返る

どんなお手伝いをしていますか？



お皿あらいをしています。

1年 「おてつだい」  
～わたしにぼくにできること～

家族愛を指導内容とする授業で、おてつだいに視点を向けさせるために、児童の生活を振り返り、自分がどんなお手伝いをしているかを発表させ、授業が始まった。

## 資料への導入

### ① 児童作文

ぼくは、二年生の時に中村南小学校に、転校してきました。転校して、初めて声をかけてくれたのは、○○君と△△君でした。ふあんがあっただけど、声をかけてくれたおかげで、うれしくなりました。そして、二年二組に入ったら、●●君のとなりの席でした。なにを言っているか、わからなかつて、ドキドキしていると、●●君が、  
「これからなかよくしようね。」  
と言ってくれたのでうれしくなりました。休み時間にもいっぱい話してくれたのでうれしくなりました。一番さいしょに、友だちになったのも●●君でした。これが、転校してきたの、うれしかったことです。

4年「貝がら」  
～通じ合う心～

本校に転校してきた児童が、当時の気持ちを表した作文を紹介した。転校生の気持ちを初めて知ったクラスの児童の顔が、笑顔になって授業がスタートした。

### ② 音声による導入



1年「ウミガメの赤ちゃん」～いのちを大切に～

1年生の資料「ウミガメの赤ちゃん」では、目を閉じて海のを聞き、目を開くと教師がウミガメの写真を提示し、「今日はウミガメの赤ちゃんのお話です。」という導入を行い、教室の中に海のイメージが広がって授業が始まった。

### ③ 写真による導入



6年 「愛の日記」  
～誰に対しても公平に～

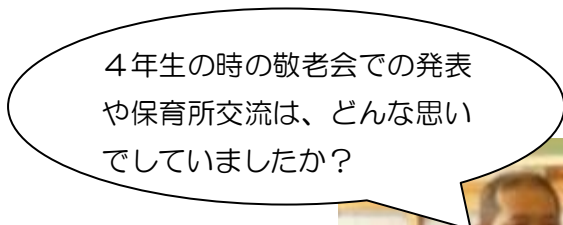
「外国籍児童に対するの照れや恥ずかしさ」、「言語に対する不安」を意識させるために、資料中に出てくる人物の出身国ベトナムの言語や文化等にふれる導入とした。



4年 「『正直』五十円分」  
～正直に生きる～

資料中にたこ焼き屋が出てくるということから、校区内のたこ焼き屋を何軒か提示した。子どもたちも知っている店が出ると、得意気になり、学習に対する意欲が湧いてきていた。

### 他教科等との関連を図った導入



5年 「ボランティアクラブに入って」  
～奉仕する喜び～

ボランティア活動や働くことの意義、誰かの役に立つことの喜びを意識させるために、前学年の総合的な学習の時間の取り組みを写真で提示し、児童に体験活動を想起させる導入とした。